

○タイトル 『千葉観光課のマザー牧場』

○登場人物

・田宮（20代） 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

・ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

・その他（外人達）

シーン1：観光課オフィス

（オフィスの喧騒。電話の音、人々の話し声）

田宮…（疲れた様子で）どうしよう、ボブさん。マザー牧場の観光客を増やす方法が思いつかない。

ボブ…（元気よく）田宮君、心配しないで！何

か楽しいことを考えればいいさ。ソフトクリ
ームは美味しいし、動物とのふれあいもあつ
て楽しいけど、もっと刺激が欲しいね。

田宮…刺激か…（しばらく考えて）そうだ、
闘牛ショーはどうですか？

ボブ…（驚いた声で）闘牛ショー？それはち
よっと危険じゃない？

田宮…でも、外国人観光客にはインパクトが
あつて面白いかもしれないですよ！

ボブ…（笑いながら）なるほど、面白いかも
ね！やってみよう！

シーン 2: マザー牧場

（牧場の自然音、動物の鳴き声）

スタッフ…闘牛ショーですか？それはちよつ

と……（困惑した表情）

ボブ…心配しないでください！安全対策は万全にします。それに、外国人観光客には絶対にウケますよ！

田宮…（自信満々に）そうです！これは千葉観光の大きな目玉になるはずです！

スタッフ…うーん、でも本当に大丈夫なんですか？

ボブ…大丈夫ですよ！田宮君に任せておけば間違いありません！

シーン ☪ 闘牛ショー当日

（観客の歓声、音楽。闘牛場の緊張感が漂う）

ナレーター…闘牛ショーが始まりました。観客は期待に胸を膨らませ、目の前で繰り広げられる壮絶な戦いに目を離せません。

田宮…（ドキドキしながら）ボブさん、本当に大丈夫でしょうか？

ボブ…（笑顔で）大丈夫さ！見て、観客の反応を！

（牛が場内に入ってくる音。観客の興奮が高まる）

外国人観光客 A:（興奮して）うわー！すごい！あの牛、大きいな！

外国人観光客 B:（笑いながら）これは本当に迫力満点だ！

（牛が闘牛士に向かって突進する音）

田宮…（息を飲む）うわっ、危ない！

外国人観光客〇：（歓声を上げて）オーレ！

外国人観光客D：（拍手しながら）これが日本の闘牛ショーか、すごい！

（闘牛士が華麗に牛をかわす音。観客の拍手と歓声）

田宮：（安心して）うまくかわしましたね。観客も大喜びだ。

ボブ：（満足げに）そうだね、これは間違いない大成功だよ！

（ショーが続き、観客のリアクションがますます盛り上がる）

外国人観光客A：（叫びながら）もっと見せて！

外国人観光客 B: (笑いながら) これは最高の体験だ!

外国人観光客 C: (カメラを構えながら) 写真を撮らなきゃ!

外国人観光客 D: (歓声を上げて) 素晴らし
いショーだ!

(ショーが終わり、観客の大きな拍手と歓声)

田宮: (ホッとした声で) よかった、みんな楽しんでくれてるみたいですね。

ボブ: (笑顔で) そうだね、田宮君のアイデアは大成功だよ!

シーン 4: 結末

(オフィスに戻る足音)

田宮…（嬉しそうに）ボブさん、観光客が増えましたね！

ボブ…（笑顔で）そうだね、田宮君のおかげだよ！これからも面白いアイデアを考えていこう！

田宮…（笑いながら）はい、次はどんなアイデアを出しましょうかね？

（心人が笑いながらオフィスに戻る）

エンディングナレーション

千葉観光課の田宮とボブは、無事にマザー牧場の観光客を増やすことに成功しました。これからも彼らの突飛なアイデアが、千葉県の観光を盛り上げていくことでしょう。